

# はるひこ 大野治彦

令和6年2月発行

vol.21

## 区政報告

自由民主党 板橋区議会議員 大野治彦

〒173-0037 東京都板橋区小茂根4-4-10

TEL/FAX: 03-5995-9073

区政に関するご要望・ご相談は

お気軽にご連絡ください。[大野治彦ホームページ](http://ohno-haruhiko.tokyo/)  
<http://ohno-haruhiko.tokyo/>



本年元旦に発生しました石川県能登半島におきまして、最大震度7を観測する地震が発生し、多くの尊い人命が失われました。犠牲になられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

令和5年第3回定例会決算審査特別委員会にて令和4年度決算に関する総括質問に立たせていただきました。皆様のご意見ご要望を区政に反映し、初心を忘れることなく、区政の更なる伸長発展に向けて日々精進してまいります。

### ★決算調査特別委員会質問項目

#### ◇令和4年度決算

- 一般会計の令和4年度決算の状況（財政・事務執行状況の観点から）
- 特別区民税・国民健康保険料の収入未済・不能欠損
  - \*収入未済：当該年度に納められるべき歳入で出納閉鎖日までに納められなかったものです。
  - \*不能欠損：今後も税・保険料の徴収を行なう見込みがたたないため地方自治体が徴収を諦めるとして、税は5年間、保険料は2年間で時効になります。
- 令和5年度に実施された行政評価と今後の区政運営への反映
- 職員提案の政策の対応状況
- 令和4年度の新公会計制度に基づく財務諸表の活用方策、区民向けの財務諸表概要版の区民の皆様の反応
- 少子化が進む中での起債の額、公債費の負担についての見解と基金の運用状況
  - \*起債とは、地方自治体が金融機関から借り入れを行なう行為です。
  - \*公債費とは、区が返済する元利償還金（元金と利子）と一時的な借入れをした場合の支払利息のことです
- 子ども家庭総合支援センターの運営状況と今後の課題
- 国民健康保険事業の現状と今後



#### ◇地域センター

- 令和4年度の事務執行状況と成果
- 職員体制
- 地域センターと住民防災組織との連携
  - 防災訓練のあり方

#### ◇町会・自治会、シニアクラブとの連携・支援

- 予算面の支援だけではなく新たな連携・支援の必要性

#### ◇プラスチックごみの再資源化

- 令和4年度に試験的に実施された地域の実施結果と課題・問題
- 令和5・6年度に行なわれる住民説明会の対応
- 現在協力をいただいている資源ごみ回収場所への対応

#### ◇防災・減災対策

##### ★防災の観点から

- 板橋区は、水害における地域防災力の向上や河川敷の利活用による健康増進策に関する「かわまちづくり計画」を国に申請しました。国はその必要性が高いと判断し、『板橋区かわまちづくり計画』が令和3年8月に国の制度に登録されました。
- 荒川河川敷のにぎわい創出と水害対策の推進に向け「板橋区かわまちづくり計画」が示された。本プロジェクトの取組み状況と課題
- 危機管理部・区民文化部・資源環境部・都市整備部・土木部の部を横断しての取り組みが行なわれている。連携体制
- 国土交通省との連携・折衝状況      ○若手職員による会議の開催状況
- YouTubeで動画配信されている防災動画の配信状況・反響・今後の予定、ハイブリット型防災関連イベント「いたばし防災+フェア」の取組み状況

## ★危機管理の観点から

◇町会・自治会が電柱などに設置する防犯カメラの設置費・維持管理費を東京都に全額負担求めている。現在の状況と今後の対応



## ◇都市農政と板橋区の農業

○板橋区の農業の現状・農業振興施策・区民農園の利用実績と今後の方向性・学校給食への納入状況・農業体験学校の趣旨と受講状況・農業振興に関する今後の方向性

## ◇東京メトロ小竹向原駅1番出口へのエレベーターの設置について

★小竹向原駅1番出口にエレベーターの設置（バリアフリー化）ができるよう、東京地下鉄株式会社に署名・要望書を提出し求めてまいりました。板橋区からも早期設置に向けての要望が行なわれてまいりました。エレベーター設置には、東京メトロによる整備計画予定の策定など具体的な事業実施が重要であることから、あらゆる手段を講じるべく令和5年5月22日に仲間の公明党田中功夫板橋区議会議員同席のもと、衆議院議員岡本三成国会事務所にて東京メトロ国会担当者に地域住民の要望を伝えました。その上で、7月28日に下村博文衆議院議員を通じて国会事務所にて国土交通省との面談を行ない、今後のエレベーターの設置計画予定などを確認しました。併せて、小竹向原駅を所管する東京メトロと西武鉄道による調整、関係者協議の有無について具体的な議論を行ないました。今後も板橋区を通じて、地域住民の要望を伝えていくとともに、早期実現のために関係各所との綿密な連携、所管する鉄道会社への要望を継続してまいります。バリアフリー化は地域に住む子育て世代、高齢者世帯の強い要望であり、住民の生活環境の向上に関わるだけではなく、駅の利便性の向上に寄与します。事業計画の具体的な日程を含め、今後も前広に地域の方々に情報発信を行なってまいります。



## ◇都立城北中央公園の再整備について

★地域住民の声を届けるため、令和5年11月16日練馬区議会自由民主党福沢剛幹事長に面会し公園整備についての理解を求めました。その後令和5年12月13日衆議院議員下村博文国会事務所にて公園を所管する東京都と国土交通省に対して、板橋区議会自由民主党議員団副幹事長の田中俊介議員・中村虎彰議員とともに、再整備計画に対する地域住民の要望を伝えました。都立城北中央公園を取り巻く環境は、公園完成から長い年月が経っていること、調節池の整備が行なわれていることも相まって、住民が利用しやすく、安全・安心の環境、明るい景観整備となっていない点などを挙げ、早期に再整備が実現されることを強く要望しました。東京都からは南側地域の整備計画と共に、調節池の完成期などの説明を受けました。しかしながら、整備計画には板橋区からの要望が十分に反映されたものにはなっておらず、改めてスポーツ機能の充実、まちの賑わいと活力を生み出す再整備とするよう強く訴えました。今回の面談を皮切りに、今後は東京都と板橋区の継続審議が約束され、板橋側の要望について東京都側に丁寧に受け止めてもらうことが確認されました。都立城北中央公園の再整備は地域住民の悲願であり、地域の活力を取り戻し、生活の質の向上のためには、直ちに事業を進めていく必要があります。議論の蓄積だけではなく、隣接する練馬区との連携、板橋区内での要望の一一致、地域住民との対話など、具体的な道筋を立てて整備が実現されるよう引き続き活動してまいります。令和5年10月に開催された「都知事と区長との意見交換会」に於いても「一緒に連携する」といった趣旨の発言がありました。

YouTube動画配信『都知事と区長との意見交換会』から



### ◆経歴

昭和39年3月10日生まれ  
昭和45年 茂呂塾保育園卒園  
昭和51年 板橋区立上板橋第二小学校卒業  
昭和54年 板橋区立上板橋第二中学校卒業  
昭和57年 東京都立豊島高等学校卒業  
昭和62年 日本体育大学体育学部体育学科卒業  
昭和62年～平成7年 民間企業勤務  
平成19年～現在 板橋区議会議員

### ◆役職

大野商事有限会社 代表取締役  
板橋消防団 団長  
上板橋第二中学校 同窓会会长 等  
◆区議会役歴  
平成23年度 東上線立体化調査特別委員会 委員長  
平成24年度 文教児童委員会 委員長  
平成26年度 預算審査特別委員会 委員長

平成26年度 企画総務委員会 委員長  
平成27年度 議会運営委員会 委員長  
" 自由民主党板橋区議会議員団 幹事長  
平成29・30年度 板橋区議会 第50代議長  
令和2年度 災害対策調査特別委員会 委員長  
板橋区監査委員 委員  
板橋区農業委員会 委員